

サイクルインフォメーション

(参考)

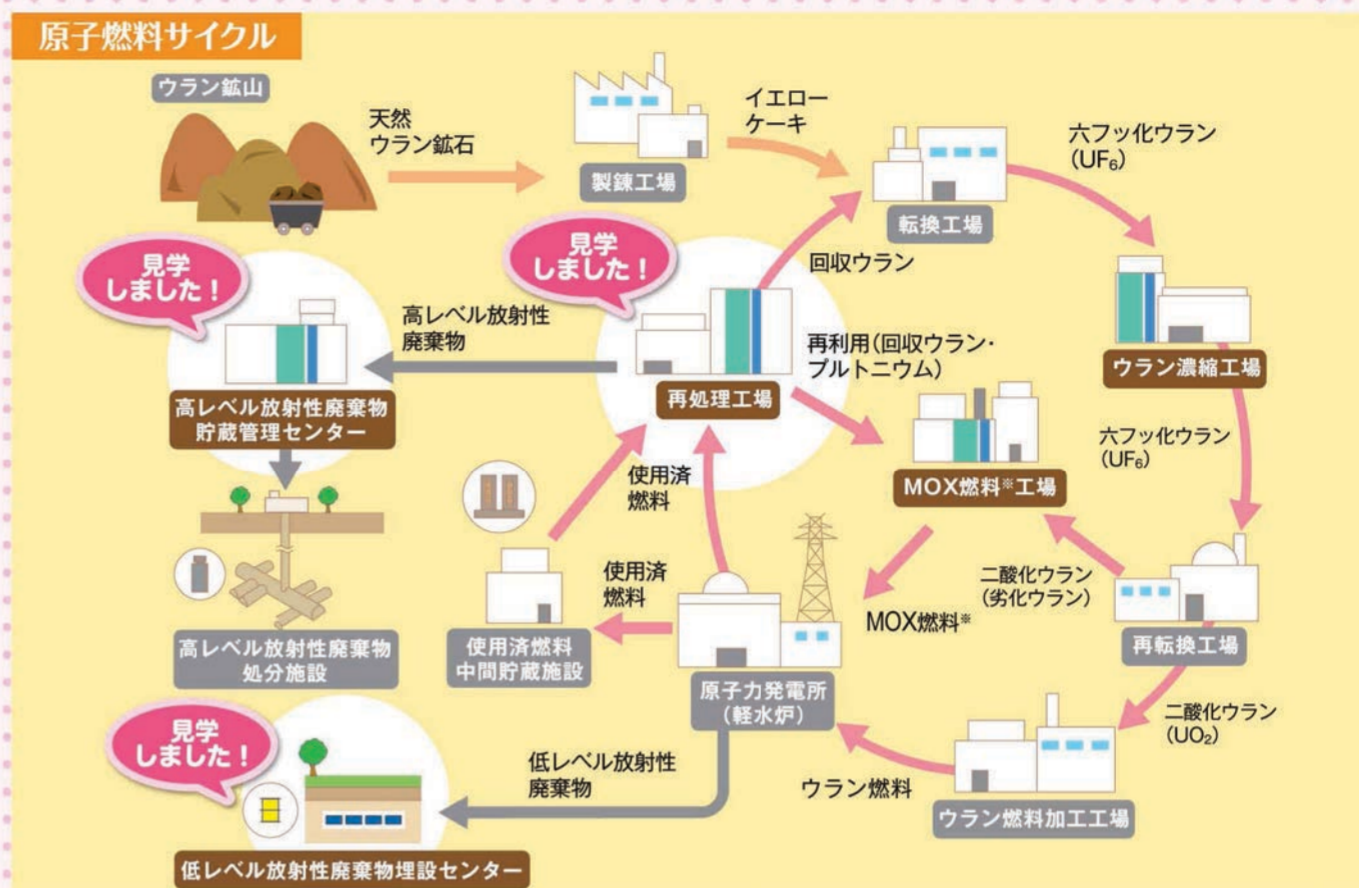
ホームページでも放射線の基礎知識などを紹介しています。



日本原燃の“今” をご紹介します。

5月27日に、2015年度げんねんレディースモニター※の施設見学会を実施しました。今号では、施設見学会の様子とモニターの方のご意見をご紹介します、日本原燃の“今”をお届けします。

※エネルギーや放射線に関する講演会や見学会等を通じて、女性の目線によるご意見を伺う活動(1年任期で毎年3月末頃に公募)



※MOX (Mixed Oxide) 燃料: プルトニウムとウランの混合燃料

※茶々は日本原燃の施設

① 模型がポイントのPRセンター

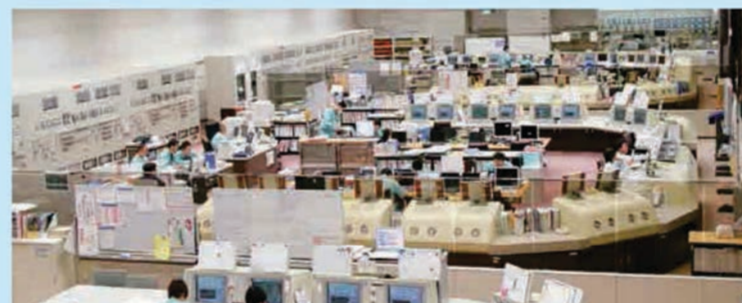
六ヶ所原燃PRセンターは、原子燃料サイクル施設の役割と仕組みについて紹介している施設です。ここでは、再処理工場の仕組みや安全対策などについて、案内スタッフが大きな模型や映像、パネルで解説しました。



大きな模型(燃料横転クレーン)を使った解説の様子

② 再処理工場

最大の難関であったガラス固化試験(高レベル放射性廃液をガラスに閉じ込める試験)を終え、しゅん工前の最終試験の進捗率が96%となっています。この中央制御室では、県内出身の社員を中心に約370名が3交替、24時間体制で、再処理工場の各工程の運転・監視を集中的に行っています。



中央制御室



工場内の展示スペースでの使用済燃料の模型を使った解説の様子

③ 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター

日本の原子力発電所で発生した使用済燃料をフランスとイギリスで再処理した過程で発生した高レベル放射性廃液をガラスと混ぜ合わせたガラス固化体を受け入れ、最終処分までの間、一時貯蔵します。

その期間は30年~50年で、自然の通風力を利用して冷却します。ここでは、ガラス固化体がどのように管理されているかを見学いただきました。



ガラス固化体の貯蔵ピット



ステンレス製容器に入ったガラス固化体

④ 低レベル放射性廃棄物埋設センター

原子力発電所で発生する低レベル放射性廃棄物を固形化したドラム缶を、浅い地中に埋設します。ここでは、実際の埋設敷地の風景や埋設状況を見学いただきました。



低レベル放射性廃棄物埋設センター



埋設状況の解説の様子

六ヶ所原燃PRセンター 見学のご案内

アクセスMAP, お電話で 0175-72-3101, ファックスで 0175-72-3107, パソコンで http://6sprc.jp/

インタビュー

今回の施設見学会に参加いただいた坂本さんに、施設見学会の感想や当社へのご要望を伺いました。

— 今回の施設見学会の感想を教えてください

今回の見学で、社員の方が一生懸命に安全対策に取り組まれているのを知り、「しっかりやっているなあ」と思いました。

また、施設を見て、「あっ！コマーシャルで観たところだ」と身近に感じることができました。

私は、そもそも原子力にはあまり関心がなかったんです。でも2011年に福島第一原子力発電所の事故があったからは、原子力に対して、怖い・危険だというイメージを持ちました。

しかし、レディースモニターとして色々見聞きしているうちに原子燃料サイクル施設は無くしてはならないモノだと思うようになりました。原子力関係の仕事が、青森県にとって安定した生活基盤として根付いていることを改めて感じたからなんです。

— 当社に対するご要望があれば教えてください

日本原燃が県内で多くのイベント

や勉強会を行っていることを、レディースモニターになって初めて知りました。平日のイベントが多いので、仕事もあるため、なかなか参加が難しいです。

土日にもっと開催していただければ助かります。



むつ市在住の坂本由美子さん